

高齢者が  
安心して暮らせる地域を



**特殊詐欺撃退装置の無料貸出し**  
電話がかかってきた時、相手に対して「振り込め詐欺等犯罪被害防止のため、自動録音されます」と警告音を再生し、通話を自動録音する装置です。  
※申込みは最寄りの警察署まで。

- 高齢者が狙われやすい特殊詐欺の手法を紹介します。複雑化・巧妙化が進んでおり、普段から意識している人でも、だまされるケースが増えています。
- ①オレオレ詐欺  
親族や警察官、弁護士等を装い、電話を利用して被害者をだまし、現金を振り込ませる
  - ②架空請求詐欺  
「サイト料金が未納」「契約不履行で訴状が提出された」など架空の事実を、メールやハガキなどで告げて請求を行い、現金を振り込ませる
  - ③融資保証金詐欺  
実際には融資をしていないのに、融資する旨の文書を送付するなどして、融資を申し込んだ人に対し、融資の保証金等の名目で、現金を振り込ませる
  - ④還付金詐欺  
社会保険事務所や税務署職員等を装い、税金還付等に必要手続きとして、被害者を現金自動支払機（ＡＴＭ）に誘い出し、振り込ませる



「私は大丈夫！」と思っても、実際に不安をおおるような電話がかかってきたら誰でも動揺します。犯人は、この心の動揺につけ込んできます。電話口で「お金」の話が出たら要注意です。慌てて振り込んだり、手渡ししたり、宅配便等で送金したりせず、必ず身近な人や警察署などに相談しましょう。

〈その他の特殊詐欺〉  
金融商品取引詐欺、ギャンブル必勝情報提供詐欺、異性交際あつせん詐欺、悪質商法（送りつけ商法）など

〈被害に遭わないための対策〉  
「私は大丈夫！」と思っても、実際に不安をおおるような電話がかかってきたら誰でも動揺します。犯人は、この心の動揺につけ込んできます。電話口で「お金」の話が出たら要注意です。慌てて振り込んだり、手渡ししたり、宅配便等で送金したりせず、必ず身近な人や警察署などに相談しましょう。

口ごろから手口を理解し、常に次のことを意識して心の準備をしておきましょう。

- ①動揺しない、慌てない
- ②必ず本人や関係行政機関に問合せ
- ③振り込む前に家族に相談する
- ④警察に相談する

長浜警察署 ☎62-0110  
木之本警察署 ☎82-3021



市内に暮らす65歳以上の人は3万1,692人(8月1日時点)。長浜市の人口の約26%で、この高齢化率は、2060(平成72)年には37.4%まで上昇すると推計されています。

こうした中、高齢者をめぐる犯罪・交通事故の情勢は悪化の一途をたどっています。

そこで今回は、高齢者の身近な危険となっている「特殊詐欺」と「交通事故」について、被害に遭わないための方法や被害防止に向けた警察や地域での取組を紹介します。

〈特殊詐欺事案〉

昨年、県内で発生した特殊詐欺事案は、認知したもののだけでも121件、被害総額5億6千万円でした。このうち、高齢者の被害は61件、4億3千万円と、件数は全体の5割であるのに対し、被害額は7割を超えています。

具体的にどのようなものか、市内で高齢者が被害に遭った事案を紹介します。



▲「かもメール作戦」では、市内小学校1年生が、祖父母に宛てたハガキで注意を呼びかけます。



▲伊香高校防犯ボランティアグループ「SOUND(サウンド)会」による街頭啓発の様子。



▲警察官が各地域のサロンや老人会を巡回し、寸劇などで被害防止を啓発。

6月中旬、男性(79歳)が電話による巧妙な詐欺の手法にだまされ、3百万円の被害に遭いました。

ダイヤモンド取扱会社の社員を名乗る男から電話が…



しばらくして、別会社の社員Aから…



数日後、ダイヤモンド取扱会社からパンフレットが届き、社員Aから…



「安全で安心なまち」を目指して

全国地域安全運動

10月11日～10月20日

この運動により、地域安全運動をさらに強化するとともに、防犯協会をはじめとする地域安全に関係する機関や団体、警察などが、連携の緊密化を図ることにより、地域安全運動の効果を最大限に高め、もっと安心して暮らせる地域社会の実現に向け、毎年実施しているものです。

◆地域安全長浜市民大会

犯罪のない安全で明るく住みよいまち「長浜」を目指し、市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図ることを目的に開催します。

どなたでもお越しいただけます。

【とき】  
10月18日(日) 13時30分～15時30分

【会場】  
びわ文化学習センター  
(リユートプラザ)

【内容】講演会など

■市民協働推進課 ☎65-8722